

復興元年である平成29年の県政10大ニュースは、熊本地震からの復旧・復興に向けた県民の生活に深く関わる「重点10項目」に加え、将来に向けて夢や希望を与える出来事、県民総幸福量の最大化に資する出来事、県政課題の解決に向けて取組みを積極的に進めたものの中から選びました。

## ◎「平成28年熊本地震」から1年、「犠牲者追悼式」を開催

熊本地震の発生から1年となる4月14日に、御遺族や安倍首相の参列のもと、「犠牲者追悼式」を執り行った。さらに、4月中旬の約2週間を「復興祈念ウィーク」と位置付け、関連行事を取りまとめ全国に発信。16日に開催した「復興祈念シンポジウム」では、地震で得られた課題や教訓を県民と共有するとともに、復興への決意を新たにした。また、4月下旬には地震で得た教訓等を後世に伝承し、国内外の防災力強化を図るため、災害対策本部会議資料や被災前後の写真や映像などを保存・公開する「熊本地震デジタルアーカイブ」をオープン。加えて、「熊本地震震災ミュージアムのあり方検討有識者会議」から震災遺構を巡る「回廊型」のミュージアムが望ましいなどの提言を受け、実現に向けた取組みを始めた。

## ◎「すまいの再建」に向けた支援策を開始

被災者の意向に沿った「すまいの再建」を一日も早く進めるため、市町村と連携した取組みを実施。公費解体及び災害廃棄物の処理については、解体進捗率93.8%、処理進捗率92.8%と発災後2年内の終了目標へ向けて順調に進んでいる。10月には、高齢者や子育て世帯等多くの世帯の自宅再建を後押しする県独自の4つの支援策を創設。知事自ら南阿蘇村、益城町、西原村の仮設団地を訪問、直接住民に支援策の説明と意見交換を行うとともに、県広報誌をはじめあらゆる機会を通じて周知を行った。各市町村においては、説明会や相談会を開催し、受付を開始した。なお、支援策の説明と同時期の10月に、本県のすまいの再建の課題である業者不足や公共工事の遅れなど、やむを得ない事情により仮設住宅の供与期間内に退去できない方について国と協議を行い、その要件に該当する方については、供与期間を一年延長できることとなった。

## ◎「しごとの再建」に向けた取組みが本格化

グループ補助金を活用した企業復旧の動きが本格化。約5,100件、約1,400億円の支援を予定している。いち早い制度の創設により、本県経済の回復を大きく下支えした。また、県の基幹産業である農林水産業も大きなダメージを受けたが、93.1%が営農を再開。農地の大区画化を含む農地の復旧工事や、畜舎等の復旧支援を進めるなど営農再開100%に向けた被災農家の経営支援を着実に実施した。その結果、平成28年農業産出額は、前年を約127億円上回る3,475億円となり7年連続で増加した。

## ◎阿蘇地域への主要アクセスルートの復旧が進む

4月に、国から国道57号北側復旧ルート、国道325号阿蘇大橋ルートの平成32年度までの全線開通と、南阿蘇鉄道の復旧費用・工期の見通しが示された。また、8月には長陽大橋ルート（村道柝の木～立野線）が、10月には南阿蘇村から直接阿蘇山上へ通行できる南登山道（県道阿蘇吉田線）が開通した。南阿蘇鉄道の全線復旧について、県、地元自治体と南阿蘇鉄道(株)で構成する「南阿蘇鉄道再生協議会」を4月に設立。10月に“上下分離方式”の導入を決定。11月に復旧に関する確認書を締結、12月には国の支援も決定されるなど、県が先頭に立ち、地元との緊密な連携のもと全線復旧に向けた取組みを進めている。

## ◎熊本城をはじめとした文化財の復旧が本格化

熊本地震からの「復興のシンボル」である熊本城の天守閣については、2019年国際スポーツ大会を目指した復旧工事が進捗するとともに、天守閣を間近に見られる見学通路の設置など、復旧過程の見える化と誘客に向けた取組みが進んでいる。また、阿蘇神社の復旧工事も順調に推移している。民間からの寄付金による「被災文化財等復旧復興基金」により、被災した歴史的価値がある建造物等に対する修理費の最大2/3を支援するなど文化財の復旧支援制度も拡充しており、「熊本之宝」である文化財の復旧が本格化している。

## ◎益城町の復興まちづくりがスタート

益城町及び町議会からの強い要望を受け、県道熊本高森線の4車線化に着手することを決定。10月からは地権者との用地交渉を開始するなど取組みが本格化。

木山地区の土地区画整理事業は、益城町と町議会の要望を受け、町民の皆様のくらしの再建のみならず、熊本都市圏東部地域の発展のために不可欠との強い思いから11月に県施行を表明していたが、12月の益城町都市計画審議会において都市計画決定案が否決された。今後、益城町は、事業の必要性等について地域住民の皆様丁寧に説明し理解を求めていくとしている。

## ◎阿蘇くまもと空港の創造的復興の加速化

6月、国が空港運営を民間に委託するコンセッション方式の導入に向けた制度設計案（基本スキーム案）を公表し、運営権者の選定や国内線と国際線が一体となった新ターミナルビルの整備・供用開始のスケジュール案などが示された。また、民間事業者からの意見を募集する民間投資意向調査（マーケットサウンディング）も実施。県においても、夏から秋にかけて、阿蘇くまもと空港のコンセッションに多くの企業に関心を持ってもらい、魅力的な提案がなされるよう、セミナー・現地見学会を通じた情報発信を行った。

4月には運休していたソウル線が、11月には香港線が再開。昨年6月に再開された台湾高雄線と合わせ、熊本地震前の国際線3路線すべてが再開されることとなった。さらに12月からは釜山からチャーター便が運航、来年2月までの運航を予定している。

また、10月には国際線の利用者が累計100万人を突破するとともに、ソウル線の増便により国際線の便数は過去最大の週12便となった。

## ◎八代港のクルーズ拠点整備が進む

国や世界第2位のクルーズ船社である「ロイヤルカリビアン・クルーズ社（RCL）」とともに、拠点形成に向けた取組みを着実に実施。7月に、国際クルーズ拠点形成する全国6つの港湾の一つとして指定を受け、11月には、クルーズ拠点形成に向けた基本方針や目標などを定めた「国際旅客船拠点形成計画」を作成。12月には、RCLと拠点形成協定の内容について合意に至った。来年1月には締結する予定。

国は拠点の核として世界最大級（22万トン級）のクルーズ船に対応できる専用岸壁の整備工事に着手した。県は、大型クルーズ船観光客に対応可能な大型バス駐車場の整備など、クルーズ船が年間200回寄港する「世界とつながるゲートウェイ」の実現に向けて、国、RCLと連携した取組みを進めている。

## ◎国際スポーツ大会開催に向けた準備が着実に進む

6月にラグビー日本代表とルーマニア代表による国際テストマッチが、8月に女子ハンドボール国際大会「JAPAN CUP 2017」が開催。また、11月にはラグビーワールドカップの全試合日程が発表され、県内で2試合の開催が決定（フランス対トンガ、ウェールズ対アメリカ地区第2代表）。

さらに、「熊本ハンドボールのあゆみパネル展」など2年前イベントもスタート。12月にはドイツで開催された女子ハンドボール世界選手権において、熊本大会への引継ぎ式が行われた。

## ◎水銀に関する水俣条約が発効

平成25年に本県で開催された「水銀に関する水俣条約外交会議」で「水俣条約」が採択。今年5月には50ヶ国が締結手続きを終え、8月16日に発効した。

9月には水俣条約第1回締約国会議（COP1）がスイス・ジュネーブにて開催。胎児性水俣病患者の坂本しのぶさんや西田水俣市長らが会議に参加し、水俣病の経験や教訓を世界に向けて発信した。併せて、県では条約発効記念行事やCOP1の報告会など、様々な機会を捉え、条約の意義や水銀フリーの取組みについて積極的に情報発信を行った。

## 【プラス2項目】

### ◎くまモンの活躍

熊本市・城彩苑「湧々座（わくわくざ）」のステージに、夏休みとお盆の時期にくまモンの出演が決定。立ち見が出るほどの大盛況となり、来年2月まで出演が延長されることになった。

全国の百貨店などと連携した展覧会「大くまモン展」も開催。大阪を皮切りに約10会場を巡回する予定。9月に開催された阪急うめだ百貨店では、約2週間で延べ8万人の大盛況だった。なお、12月13日から本日まで松屋銀座においても開催中。

また、県民総幸福量を最大化するための新たなチャレンジとして、“くまラボ”（くまモン共有空間拡大ラボ）を県庁内に設置。7月には様々な知恵やアイデアを持つ優秀な人材をメンバーとして募集、9月にキックオフ会議を行うなど、新たな取組みに向けた種まきを行った。その芽を大きく育て、大きな成果を実らせるための新たな展開も目指す。

3月にはフランスの観光親善大使に任命され、さらに香港・台湾・タイなどくまモンをフックとした海外展開がなされるなど、「くまモンの共有空間」はますます世界へ広がっている。

### ◎化血研の事業譲渡、基本合意書を締結

懸案であった化血研の事業譲渡について、明治グループ及び地元企業グループがそれぞれ49%、県が2%を出資して設立する会社に譲渡する基本合意書が12月に締結された。

この基本合意は、①大手製薬メーカーによる安定的かつ発展的な経営、②血液製剤、ワクチン及び動物薬事業の一体的な譲渡、③熊本の雇用・人材・拠点の維持・確保の実現につながるもの。

今回の事業譲渡の実現によって、化血研の高い研究・開発力と明治グループのシナジー効果が発揮され、化血研の事業の国際展開をはじめとする更なる飛躍、ひいては県民総幸福量の増大への貢献が期待される。